

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	平成28年度第1回文化芸術に関する意見交換会
2 会議の開催日時	平成28年11月25日(金) 10時から12時30分まで
3 会議の開催場所	別所公民館 講座室 他
4 出席者名	石上委員長、石川委員、五十嵐委員、井藤委員、 おかべ委員、久米委員、雑賀委員、文園委員、 山口委員、吉成委員 他 事務局職員
5 議題及び公開又は非公開の別	(1) さいたま市文化芸術都市創造計画平成27 年度施策集、平成28年度施策集暫定版につい て (2) さいたまトリエンナーレ2016について 公開
6 非公開の理由	
7 傍聴者の数	0人
8 審議した内容	(1) さいたま市文化芸術都市創造計画平成27 年度施策集、平成28年度施策集暫定版につい て (2) さいたまトリエンナーレ2016について
9 問合せ先	スポーツ文化局文化部文化振興課 電話番号 048-829-1226
10 その他	

平成 28 年度第 1 回文化芸術に関する意見交換会

次 第

平成 28 年 11 月 25 日(金) 10 時 00 分～
別所公民館 講座室

1 開 会

2 スポーツ文化局長挨拶

3 新規委員紹介

4 テーマ

- (1) さいたま市文化芸術都市創造計画平成 27 年度施策集、平成 28 年度施策集暫定版について
- (2) さいたまトリエンナーレ 2016 について

5 閉 会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料 1 - 1 事業数推移表
- ・ 資料 1 - 2 各施策の状況
- ・ 資料 2 意見書
- ・ 資料 3 さいたまトリエンナーレ 2016 関連資料

文化芸術に関する意見交換会委員名簿

(敬称略)

		氏 名	所属団体等
1	委員長	いわがみ しろゆき	埼玉大学教育学部 准教授
		石上 城行	
2	副委員長	いしかわ まもる	公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団 業務執行理事兼総務部長
		石川 護	
3	委員	いがらし けんいち	鉄道博物館 主任
		五十嵐 健一	
4	委員	いとう じん	岩槻人形協同組合 理事
		井藤 仁	
5	委員	おかべ りか	日本児童出版美術家連盟
		おかべ りか	
6	委員	くめ なおこ	さいたま市美術家協会 評議員
		久米 尚子	
7	委員	さいが よしひと	公募委員
		雑賀 吉人	
8	委員	たけむら あおみ	株式会社JTB関東 法人営業埼玉支店 交流文化事業チーム担当
		竹村 あおみ	
9	委員	ふみぞの としろう	公募委員
		文園 敏郎	
10	委員	まつもと ちかこ	株式会社 FM NACK5 編成制作部担当部長
		松本 千加子	
11	委員	やまぐち せいこ	公募委員
		山口 聖子	
12	委員	やまだ とみお	日本盆栽作家協会 代表幹事
		山田 登美男	
13	委員	やまもと よしあき	公募委員
		山本 吉明	
14	委員	よしなり たけし	公募委員
		吉成 彪	

平成26年度から平成28年度 施策集 事業数推移

施策番号		H26		H27		H28	
		施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎
1-1	文化芸術活動に関わる人材の育成・支援	35	41	38	45	39	46
1-2	情報基盤の充実	6		7		7	
2-1	子どもの文化芸術教育の推進	13		13		14	
2-2	子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実	33	46	36	49	35	49
3-1	伝統的・民俗的な文化芸術の継承	4		4		4	
3-2	伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実	14	18	16	20	15	19
4-1	鑑賞機会の充実	34		33		31	
4-2	活動への参加機会の充実	48	85	50	88	51	87
4-3	鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供	3		5		5	
5-1	盆栽文化の振興	8		9		11	
5-2	漫画文化の振興	9		9		10	
5-3	人形文化の振興	7	72	7	74	7	73
5-4	鉄道文化の振興	12		10		10	
5-5	多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用	36		39		35	
6-1	文化芸術を通じた交流の推進	6		8		16	
6-2	文化芸術によるまちづくり	29	35	29	37	28	44
7-1	文化芸術の活動となる施設の機能向上・充実	4		3		3	
7-2	文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携	14	18	13	16	12	15
重1	文化芸術を活かしたまちの活性化	4	4	4	4	5	5
重2	文化芸術都市創造を担う人材の育成	4	4	4	4	4	4
重3	さいたま市の魅力ある資源の活用と発信	27	27	30	30	27	27
		350	350	367	367	369	369

H26からH27増減		増減の詳細		H26からH27	
施策展開毎	施策毎	増	減	増減理由	
3	4	新・人材バンク事業 中央区美術展の開催 区管内観光団体特別支援事業 新・日光御成道美術大門口まつり 情報誌の発行	子ども文化祭 シティオペラ	文化振興事業団との事業の統合などにより事業数は減少したが、緑区での新規の補助金交付事業、及び人材バンクシステムの開始、SaCLaサポーターズの育成を図る事業を実施したこと、また施策展開の見直しに伴い全体では増加となった。	
1		新・人材バンク事業	-	情報発信の新たな事業として、人材バンク事業の開始に伴い事業数は増加した。	
0					
3	3	新・鉄道張子と音楽コンサート 新・日光御成道美術大門口まつり まちかど難めぐり 新・子供を対象にした文化芸術の成果発表	子ども文化祭	文化振興課と文化振興事業団との事業の統合に伴う減少があったが、緑区で新たな子供が体験できる事業を開始したこと、既存事業のうち、子どもが気軽に参加できると判断し、施策展開の見直しを行った事業があったため、全体では増加となった。	
0	2	新・人材バンク	子ども文化祭	文化振興事業団との事業の統合に伴う減少があったが、新たに情報提供のシステムとして、人材バンク事業が開始になったため、事業数に変化はなかった。	
2		新・鉄道張子と音楽コンサート 文化財保存事業補助金		人形文化のひとつである張子講座の実施と、施策展開の見直しを行い、文化財保存事業補助金を追加したため、事業数は増加となった。	
△ 1		新・思い出の指扇駅写真展 新・バラのまち中央区の花バラの写真展 新・鉄道張子と音楽コンサート	中央区の今昔写真展 文化芸術都市創造計画策定記念事業 区民ふれあいコンサート(桜区) 南鴻沼遺跡連報展	区で行っていた事業、単年度の記念事業など4事業が終了、一方で中央区、西区で区の特性を生かした事業を開始したことに伴う増加があったが、全体では減少となった。	
2	3	新・思い出の指扇駅写真展 新・バラのまち中央区の花バラの写真展 桜区民ふれあいまつり 新・鉄道張子と音楽コンサート 子ども漫画教室 子ども向けワークショップ 世界盆栽大会 幼児期から参加できるワークショップ	子ども文化祭 シティオペラ 大宮盆栽美術館での漫画展 中央区の今昔写真展 文化施設利用者による発表会	文化振興課と文化振興事業団との事業統合、単年度事業など4事業が終了、一方で中央区、西区で区の特性を生かした事業を開始、また気軽に参加できる事業と判断し、施策の展開見直しを行ったことで、全体では増加となった。	
2		ジンシャリ ノース*ノステル		情報提供は、紙媒体とウェブサイトで行われており、これまでも発行していた情報誌の2事業を計上したため、増加となった。	
1		新・国際盆栽シンポジウム		平成29年度開催予定の世界盆栽大会に向けた、国際盆栽シンポジウム開催に伴い事業数は増加した。	
0					
0	2				
△ 2			大宮駅開業130周年イベント×2(単)	従来どおり、鉄道をPRするイベントは継続して行っているが、大宮駅開業130周年記念イベントの終了に伴い事業数は減少した。	
3		新・鉄道張子と音楽コンサート 新・さいたま市けんてーウェブサイト 新・思い出の指扇駅写真展 新・日光御成道美術大門口まつり	遺跡現地説明会 南鴻沼遺跡連報展	平成26年度で南鴻沼遺跡関連の2事業が終了したが、張子講座、ウェブを活用した事業、また西区、緑区で地域の特性を生かした事業を開始したため、全体として増加となった。	
2	2	新・国際盆栽シンポジウム×2		平成29年度開催の世界盆栽大会に向けた、国際盆栽シンポジウム開催に伴い事業数は増加した。	
0		新・日光御成道美術大門口まつり	アートストリート事業	平成26年度でアートストリートの整備は終了したが、緑区で新たに地域資源を活用した事業を開始したため、事業数に変化はなかった。	
△ 1			バリアフリー化の推進(漫画会館)	平成26年度で漫画会館のバリアフリー化が終了したため事業数は減少した。	
△ 1	△ 2		アートストリート事業	施設の相互協力が主な事業であり、継続して実施されているが、平成26年度でアートストリート整備が終了したため事業数は減少した。	
0	0				
0	0				
3	3	新・鉄道張子と音楽コンサート×2 のびのびシティさいたまフェア 新・地域資源発見発信事業 新・国際盆栽シンポジウム 新・さいたま市けんてー	大宮駅開業130周年イベント(単) 所蔵品展(人形)	施策の統合、大宮駅開業130周年記念イベントの終了による減少があったが、国際盆栽シンポジウム開催、新たな情報発信の方法、新規事業の開始に伴い全体としては増加となった。	
17	17				

平成26年度から平成28年度 施策集 事業数推移

施策番号		H26		H27		H28	
		施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎
1-1	文化芸術活動に関わる人材の育成・支援	35	41	38	45	39	46
1-2	情報基盤の充実	6		7		7	
2-1	子どもの文化芸術教育の推進	13	46	13	49	14	49
2-2	子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実	33		36		35	
3-1	伝統的・民俗的な文化芸術の継承	4	18	4	20	4	19
3-2	伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実	14		16		15	
4-1	鑑賞機会の充実	34	85	33	88	31	87
4-2	活動への参加機会の充実	48		50		51	
4-3	鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供	3		5		5	
5-1	盆栽文化の振興	8	72	9	74	11	73
5-2	漫画文化の振興	9		9		10	
5-3	人形文化の振興	7		7		7	
5-4	鉄道文化の振興	12		10		10	
5-5	多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用	36		39		35	
6-1	文化芸術を通じた交流の推進	6	35	8	37	16	44
6-2	文化芸術によるまちづくり	29		29		28	
7-1	文化芸術の活動となる施設の機能向上・充実	4	18	3	16	3	15
7-2	文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携	14		13		12	
重1	文化芸術を活かしたまちの活性化	4	4	4	4	5	5
重2	文化芸術都市創造を担う人材の育成	4	4	4	4	4	4
重3	さいたま市の魅力ある資源の活用と発信	27	27	30	30	27	27
		350	350	367	367	369	369

H27からH28増減		増減の詳細		H27からH28 増減理由
施策展開毎	施策毎	増	減	
1	1	シティオペラ×2		隔年開催のシティオペラに補助金を交付するため、事業数は増加となった。
0				
1		世界盆栽大会推進事業		平成29年開催の世界盆栽大会に向け、小学校においても盆栽事業を実施することから事業数が増加した。
△1	0		鉄道張子と音楽コンサート	トリエンナーレ開催のため鉄道張子と音楽コンサートを実施しないことから事業数は減少した。
0				
△1	△1		鉄道張子と音楽コンサート	トリエンナーレ開催のため鉄道張子と音楽コンサートを実施しないことから事業数は減少した。
△2		新・漫画会館開館50周年記念写真展 新・西区写真展「写真で振り返る西区なつかしの風景」	思い出の指扇駅写真展(単) 中央区食覚棟展示事業 公園アトリーチ 鉄道張子と音楽コンサート	新たに漫画会館開館50周年事業、西区での写真展事業を開始、一方で単年度事業や文化振興事業団でのアウトリーチ事業が終了、鉄道張子と音楽コンサートを実施しないこと、また中央区では事業の類似統合を行った結果、全体の事業数は減少した
1	△1	シティオペラ 新・西区写真展「写真で〜」 新・指扇駅自由通路アジサイ展 新・西区アジサイ道場	西区アジサイ作品展 思い出の指扇駅写真展(単) 軽音楽コンテスト	隔年開催のシティオペラの実施、新たに西区で写真展や区の花「アジサイ」を活用した事業を開始、一方で西区で単年度事業である写真展、文化振興事業団での軽音楽コンテストが終了したが、全体では事業数は増加した。
0				
2		新・盆栽美術本の製作 新・盆栽庭園の改修 新・(仮称)盆栽アカデミーの開設	国際盆栽シンポジウム(単)	世界盆栽大会の開催に合わせ、盆栽美術本の製作、盆栽庭園の改修を実施、また(仮称)盆栽アカデミーの開設準備を進めるため事業数は増加した。
1		新・漫画会館開館50周年記念写真展		漫画会館開館50周年事業の実施に伴い事業数は増加した
0	△1			
0				
△4			地域資源発見発信事業 鉄道張子と音楽コンサート 思い出の指扇駅写真展(単)	シティセールスでの地域資源発見発信事業、単年度事業の写真展が終了、またトリエンナーレ開催のため鉄道張子と音楽コンサートを実施しないことから事業数は減少した。
8	7	新・トリエンナーレ連携プロジェクト×9 新・トリエンナーレ市民プロジェクト	国際盆栽シンポジウム(単)×2	さいたまトリエンナーレ2016開催に伴い連携プロジェクト、市民プロジェクトを実施するため事業数は増加した
△1			アートストリート整備事業	一部継続していたアートストリート事業が終了したため事業数は減少した。
0				
△1	△1		アートストリート整備事業	一部継続していたアートストリート事業が終了したため事業数は減少した。
1	1	新・(仮称)盆栽アカデミーの開設		(仮称)盆栽アカデミーの開設準備を進めることから、事業数は増加した。
0	0			
△3	△3	新・(仮称)盆栽アカデミーの開設	鉄道張子と音楽コンサート×2 地域資源発見発信事業 国際盆栽シンポジウム	盆栽を活かした(仮称)盆栽アカデミーの開設が開始されたが、単年度事業の国際盆栽シンポジウムやシティセールスの地域資源発見発信事業の終了、また鉄道を活用した事業を実施しないことから事業数は減少した。
2	2			

各施策の状況 (平成27年度確定版)

施策1 文化芸術都市の創造のために必要な文化芸術活動の促進 (45 事業)

1-1「文化芸術活動に関わる人材の育成・支援」は、芸術家に活動機会を提供する人材登録制度「S a C L a アーツ」や事業においてS a C L a サポートズを活用し育成を図る、ボランティアを活用する事業「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェアでの鉄道文化啓発」などがあるが、具体的な取組のうち、「文化芸術団体の活動支援」が最も充実しており、「さいたま市民音楽祭（補助金交付事業）」や「文化芸術都市創造補助金」といった文化事業の実施に対する補助金の交付により、その活動の支援を行っている。また、講師と市民のマッチングによる人材の支援として「人材バンク事業」が新たに加わった。

1-2「情報基盤の充実」は、紙面による情報提供は「さいたま市民文化祭」の1事業であり、その他は市や指定管理者のホームページによる情報提供となっている。

施策2 文化芸術に対する子どもの感性の向上 (49 事業)

2-1「子どもの文化芸術教育の推進」は、うらわ美術館や文化施設で行われているワークショップ・コンサート等の他、学校でプロの音楽を鑑賞できるプライマリーコンサートやアウトリーチコンサート、大宮落語体験教室等の事業がある。大部分が音楽と美術の分野であり、幼児期のうちから文化芸術に触れる機会が提供されている。

2-2「子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実」は、事業数も多く、そのうち「子どもを対象にした鑑賞・体験機会の充実」は25事業あり、漫画会館の「こども漫画教室」や大宮盆栽美術館で盆栽文化を体験する「子ども向けワークショップ」といった、本市ならではの地域に根差した文化に関する事業があるほか、地域性を活かした事業を各区でも実施している。新規事業として、鉄道と人形文化を融合させた「鉄道張子講座と鉄道音楽コンサート」を、緑区では地域資産を活用した「日光 御成道 美園大門宿まつり」を実施した。

施策3 伝統的・民俗的な文化芸術の継承と発展 (20 事業)

3-1「伝統的・民俗的な文化芸術の継承」は、伝統芸能の発表の場である「青少年による郷土芸能伝承活動補助金」等の青少年の活動に対する補助金交付による支援と、指定管理者が行う人材育成事業と、また、新たに知識や経験の継承につなげるための「人

材バンク事業」が加わった。

3-2「伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実」は、そのほとんどが区役所が行っている事業であった。「西区内散策交流事業」での祭囃子の披露や、鉄道張子講座、大宮落語体験教室等を除いて、「まつり」によるものとなっている。

施策4 文化芸術に対する理解及び関心の促進 (88 事業)

事業数は、基本施策中、最も多い。4-1「鑑賞機会の充実」は、美術館やホールなど専用の場所での鑑賞事業に加え、区役所での絵画展示やロビーコンサート、図書館での文化財の展示等、文化施設以外での身近な場所においても事業が多数行われている。

4-2「活動への参加機会の充実」は、事業数は多く、「さいたま市民文芸」や「ジュニアソロコンテスト」等、幅広い年代層の市民の文化芸術活動の発表や体験機会が多数提供されている。

4-3「鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供」は、ホームページによる情報提供のほか、定期発行の情報誌、市民文化祭リーフレット発行などの紙面による幅広い情報提供が行われている。

施策5 地域に根ざした文化芸術に関する資源の発掘・保護・活用 (74 事業)

5-1「盆栽文化の振興」は、大宮盆栽美術館での盆栽の鑑賞・講座に加え、経済分野の所管課事業があり、盆栽文化の国内外への発信につながる「大盆栽まつり」「世界盆栽大会推進事業」といった大規模なイベント事業が行われている。

5-2「漫画文化の振興」は、ユーモアをテーマとした「ユーモアフォトコンテスト」、「国際漫画フェスティバル」や「漫画の講演会・展示」といった事業が文化所管課と指定管理者により実施されている。漫画に関しては、さいたま市の魅力ある資源に位置付けられた4つの文化（盆栽・漫画・人形・鉄道）のうち、唯一、国内外に向けたコンテスト事業が行われている。

5-3「人形文化の振興」は、参加・鑑賞型である「城下町岩槻歴史散策」や「人形のまち岩槻まつり」等の事業が行われている。事業の多くは岩槻区内で行われているが、緑区でも「木目込み人形作成講座」が行われている。

5-4「鉄道文化の振興」は、「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」や「親子で行く！大宮車両センター探検隊」などJR東日本と連携したイベントや、鉄道博物館とコラボグッズを作成する事業といった鉄道関係団体との連携があるのが特徴である。

5-5「多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用」は、施策5の全体の事業のうち39事

(平成27年度確定版)

業と約半数を占めている。地域や区ごとに開かれている文化まつりなどの郷土意識の醸成等を図る事業が主となっているが、市史編さん事業、サクラソウ関連事業や見沼通船堀開門開閉実演事業、遺跡からの出土品展示等、本市の文化資源を活用した事業も行われている。

施策6 多様な文化芸術に触れる機会の提供 (37 事業)

6-1「文化芸術を通じた交流の推進」は、「国際漫画フェスティバル」や「国際盆栽シンポジウム」、国内友好都市や海外姉妹友好都市など既存の資源・交流を活かした事業が行われている。また、トリエンナーレの開催準備やアーティスト・イン・レジデンスといった現代芸術の視点を取り入れた事業が行われている。

6-2「文化芸術によるまちづくり」は、施策6の全体の事業数の8割を占めている。まつり等のイベントや文化芸術団体が行う事業への補助金が主な内容となっているが、その地域ならではの文化芸術資源を活かした事業として、「見沼田圃の保全・活用・創造事業」、城下町であった岩槻の「岩槻駅周辺地区まちづくり事業」における都市計画との連携や、区独自で行っている事業として、彩の国さいたま芸術劇場への駅からのルート整備等が見られる。

施策7 文化芸術活動の場となる施設の充実 (16 事業)

事業数は、基本施策中、最も少ない。7-1「文化芸術の活動の場となる施設の機能向上・充実」は、備品の充実、バリアフリー化、インターネットを通じた予約システムなどの利便性向上が引き続きみられた。

7-2「文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携」は、13事業となっており、施設連携の部分については、民間施設や埼玉県、庁内各部署との連携によるチラシの相互配布や、大宮公園駅周辺の9施設が情報発信等において相互に連携する事業などが行われている。一方、文化センターの拠点機能の構築については、市民への情報提供、市民参加の講座実施にとどまっている。

重点プロジェクト1 文化芸術を活かしたまちの活性化 (4 事業)

重点プロジェクト1は、国際的な芸術祭の「さいたまトリエンナーレ2016」の開催に向けた準備を行った。また、トリエンナーレの事業メニューの一つとして、アーティスト・イン・レジデンスをプレイベントとして実施した。

また、文化芸術と産業の連携として、伝統産業及び伝統産業事業所を指定するといった伝統産業の活性化事業が実施されている。

重点プロジェクト2 文化芸術都市創造を担う人材の育成 (4 事業)

重点プロジェクト2は、芸術家に対する総合的な支援として「SaCLaアーツ事業」を実施し、文化芸術活動を支える人材育成としては、「SaCLaサポーターズ事業」等が行われた。

また、トリエンナーレ関連事業として、文化芸術活動をコーディネートできる人材の育成としては、さいたまトリエンナーレ開催を支えるボランティアの募集を開始したほか、市民等による文化芸術活動を支援するプロジェクトとして市民参加事業の制度を設計した。

重点プロジェクト3 さいたま市の魅力ある資源の活用と発信 (30 事業)

重点プロジェクト3は、魅力ある資源を活用した事業の推進として、本市の魅力ある資源である「盆栽」、「漫画」、「人形」については、それぞれの分野を所掌する所管課所室を中心に、企画展や講座といった各種事業が行われた。「鉄道」については、「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」に関連する事業のほかに、「鉄道張子講座と鉄道音楽コンサート」、大宮区において「親子で行く！大宮総合車両センター探検隊」等の各種事業が実施された。

また、魅力ある資源の連携として、大宮盆栽美術館を会場に、「音楽」と連携した事業を実施するとともに、魅力ある資源の発信として、シティセールスの一環としてウェブサイトやPR動画を使った情報発信や、大宮盆栽を世界に発信する「世界盆栽大会」に向けた支援が行われた。

まとめ

基本施策、重点プロジェクトともに、関連事業が実施されていないものはないが、事業数という観点からすると、施策ごとにばらつきが見られる。

基本施策においては、基本施策4「文化芸術に対する理解及び関心の促進」が88事業であるのに対し、基本施策7「文化芸術活動の場となる施設の充実」は16事業と最も事業数が少ないという状況であるため、今後の施策について検討する必要があると思われる。

また、基本施策に位置付けた新たな視点に立った事業の展開状況を見ると、教育や観光など「幅広い分野との連携」の面では、鉄道のまち大宮鉄道ふれあいフェアにおいて経済分野との連携が行われているほか、また、プライマリーコンサートにおいては教育分野との連携が行われている。「関係団体との連携」の面では、大宮総合車両センターの見学や鉄道博物館とコラボグッズを作成する事業など、JR 東日本や鉄道博物館との連携事業を行っているが、計画の目指す将来像である「まちづくり」の視点から、他の分野においても今後さらなる推進を図る必要があると思われる。

重点プロジェクトにおいては、重点プロジェクト1「文化芸術を活かしたまちの活性化」、重点プロジェクト2「文化芸術都市創造を担う人材の育成」とともに、国際的な芸術祭である「さいたまトリエンナーレ2016」の開催準備として、アーティスト・イン・レジデンスの実施やボランティア募集の開始を行った。今後は、さいたまトリエンナーレ2016の開催に伴い、事業がさらに充実するものと思われる。

重点プロジェクト3「さいたま市の魅力ある資源の活用と発信」については、「盆栽」、「漫画」、「人形」、「鉄道」といった資源の個別事業の実施は数多く行われているが、魅力ある資源の連携に関する事業は、「大宮盆栽美術館でのロビーコンサート」など2事業にとどまっているため、今後、充実を図っていく必要があると思われる。ウェブサイトや動画を使う、市内外におけるイベントでPRを行うなど多様な方法で、情報発信を行っており、今後も国内外へ広く本市の魅力を発信していく必要があると思われる。

各施策の状況 (平成28年度暫定版)

施策1 文化芸術都市の創造のために必要な文化芸術活動の促進 (46事業)

1-1「文化芸術活動に関わる人材の育成・支援」は、芸術家に活動機会を提供する人材登録制度「SaCLaアーツ」やSaCLaサポーターズを活用し育成を図る事業、ボランティアを活用する事業「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェアでの鉄道文化啓発」などがあるが、具体的な取組のうち、「文化芸術団体の活動支援」が最も充実しており、「さいたま市民音楽祭(補助金交付事業)」や「さいたまシティオペラ(補助金交付事業)」といった文化事業の実施に対する補助金の交付により、その活動の支援を行っている。

1-2「情報基盤の充実」は、紙面による情報提供は「さいたま市民文化祭」の1事業であり、その他は市や指定管理者のホームページによる情報提供となっている。

施策2 文化芸術に対する子どもの感性の向上 (49事業)

2-1「子どもの文化芸術教育の推進」は、うらわ美術館や文化施設で行われているワークショップ・コンサート等の他、学校でプロの音楽を鑑賞できるプライマリーコンサートやアウトリーチコンサート、大宮落語体験教室等の事業がある。大部分が音楽と美術の分野であり、幼児期のうちから文化芸術に触れる機会が提供されている。

2-2「子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実」は、事業数も多く、そのうち「子どもを対象にした鑑賞・体験機会の充実」は最も多い24事業であり、漫画会館の「こども漫画教室」や大宮盆栽美術館で盆栽文化を体験する「子ども向けワークショップ」といった、毎年行っている本市ならではの地域に根差した文化に関する事業があるほか、地域性を活かした事業を各区でも実施している。また、世界盆栽大会に向けた取組みとして、小学校において盆栽事業を新たに実施する。

施策3 伝統的・民俗的な文化芸術の継承と発展 (19事業)

3-1「伝統的・民俗的な文化芸術の継承」は、伝統芸能の発表の場である「青少年による郷土芸能伝承活動補助金」等の青少年の活動に対する補助金交付による支援と、指定管理者が行う人材育成事業、また、昨年度から実施している「人材バンク事業」が「生涯学習人材バンク」へ名称変更された。

3-2「伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実」は、そのほとんどが区役所が

行っている事業であった。「西区内散策交流事業」での祭囃子の披露や、大宮落語体験教室等を除いて、「まつり」によるものである。

施策4 文化芸術に対する理解及び関心の促進 (87事業)

事業数は、基本施策中、最も多い。4-1「鑑賞機会の充実」は、美術館やホールなど専用の場所での鑑賞事業に加え、区役所での絵画展示やロビーコンサート、図書館での文化財の展示等、文化施設以外での身近な場所においても事業が多数行われている。平成28年度は、漫画会館開館50周年にあたることから、「開館50周年記念 写真展『漫画会館50年』」が実施される。

4-2「活動への参加機会の充実」は、事業数は多く、「さいたま市民文芸」や「ジュニアソロコンテスト」等、幅広い年代層の市民の文化芸術活動の発表や体験機会が多数提供されている。そのほか、西区においては、区の花アジサイを活用した事業を実施している。

4-3「鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供」は、ホームページによる情報提供のほか、定期発行の情報誌、市民文化祭リーフレット発行などの紙面による幅広い情報提供が行われている。

施策5 地域に根ざした文化芸術に関する資源の発掘・保護・活用 (73事業)

5-1「盆栽文化の振興」は、大宮盆栽美術館での盆栽の鑑賞・講座に加え、経済分野の所管課事業があり、例年どおり盆栽文化の国内外への発信につながる「大盆栽まつり」「世界盆栽大会推進事業」といった大規模なイベント事業が行われているほか、平成29年度に開催される世界盆栽大会に合わせ、「盆栽美術本の製作」、「盆栽庭園の改修」を実施する。また、盆栽に関する技術や文化を伝えるための「(仮称)盆栽アカデミーの開設」準備を進める。

5-2「漫画文化の振興」は、ユーモアをテーマとした「ユーモアフォトコンテスト」、「国際漫画フェスティバル」や「漫画の講演会・展示」といった事業が文化所管課と指定管理者により実施されている。漫画に関しては、さいたま市の魅力ある資源に位置付けられた4つの文化(盆栽・漫画・人形・鉄道)のうち、唯一、国内外に向けたコンテスト事業が行われている。また漫画会館開館50周年記念事業を実施する。

5-3「人形文化の振興」は、参加・鑑賞型である「城下町岩槻歴史散策」や「人形のまち岩槻まつり」等の事業が行われている。事業の多くは岩槻区内で行われているが、緑区でも「木目込み人形作成講座」が行われている。

各施策の状況（平成28年度暫定版）

5-4「鉄道文化の振興」は、「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」や「親子で行く！大宮車両センター探検隊」などJR東日本と連携したイベントや、鉄道博物館とコラボグッズを作成する事業といった鉄道関係団体との連携があるのが特徴である。

5-5「多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用」は、単年度事業の終了などがあったため、昨年度と比較すると若干減少したが、施策5の全体の事業のうち36事業と約半数を占めている。地域や区ごとに開かれている文化まつりなどの郷土意識の醸成等を図る事業が主となっているが、市史編さん事業、サクラソウ関連事業や見沼通船堀閘門開閉実演事業、遺跡からの出土品展示等、本市の文化資源を活用した事業も行われる。

施策6 多様な文化芸術に触れる機会の提供（44事業）

6-1「文化芸術を通じた交流の推進」は、本市で初めての国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」を開催し、多くの市民に世界の文化芸術に触れることができる機会、また、市民プロジェクトや連携プロジェクトを実施し、様々な文化芸術イベントを通じた交流の機会を提供する。昨年度に引き続き、アーティスト・イン・レジデンスを実施するなど、現代芸術の視点を取り入れた事業を行う。

さいたまトリエンナーレ以外では、「国際漫画フェスティバル」、国内友好都市や海外姉妹友好都市など既存の資源・交流を活かした事業を行う。

6-2「文化芸術によるまちづくり」は、昨年度と事業数は大きく変わらない。まつり等のイベントや文化芸術団体が行う事業への補助金が主な内容となっているが、その地域ならではの文化芸術資源を活かした事業として、「見沼田圃の保全・活用・創造事業」、城下町であった岩槻の「岩槻駅周辺地区まちづくり事業」における都市計画との連携等が見られる。

施策7 文化芸術活動の場となる施設の充実（15事業）

事業数は、基本施策中、最も少ない。7-1「文化芸術の活動の場となる施設の機能向上・充実」は、備品の充実、バリアフリー化、インターネットを通じた予約システムなどの利便性向上が引き続きみられた。

7-2「文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携」は、12事業であり、施設連携の部分については、民間施設や埼玉県、庁内各部署との連携によるチラシの相互配布や、大宮公園駅周辺の9施設が情報発信等において相互に連携する事業などが行われている。一方、文化センターの拠点機能の構築については、市民への情報提供、市民参加の講座実施にとどまっている。

重点プロジェクト1 文化芸術を活かしたまちの活性化（5事業）

重点プロジェクト1の主な取組は、国際的な芸術祭の「さいたまトリエンナーレ2016」の開催である。また、トリエンナーレの事業メニューとして、アーティスト・イン・レジデンスを実施し地域との交流を図る。

また、文化芸術と産業の連携として、今年度からは、盆栽の技術や文化を国内外に発信するための、「(仮称)盆栽アカデミーの開設」準備を行うとともに、これまでと同様に、伝統産業及び伝統産業事業所を指定するといった伝統産業の活性化事業が実施されている。

重点プロジェクト2 文化芸術都市創造を担う人材の育成（4事業）

重点プロジェクト2は、芸術家に対する総合的な支援として「S a C L a アーツ事業」を実施し、文化芸術活動を支える人材育成としては、「S a C L a サポーターズ事業」等が行われた。

また、トリエンナーレ関連事業として、文化芸術活動をコーディネートできる人材の育成のため、さいたまトリエンナーレ開催を支えるサポーター（ボランティア）の募集を促進し、活動を支援していく。

重点プロジェクト3 さいたま市の魅力ある資源の活用と発信（27事業）

重点プロジェクト3は、魅力ある資源を活用した事業の推進として、本市の魅力ある資源である「盆栽」、「漫画」、「人形」については、それぞれの分野を所掌する所管課所室を中心に、企画展や講座といった各種事業が行われた。「鉄道」については、「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」に関連する事業のほかに、大宮区において「親子で行く！大宮総合車両センター探検隊」等の各種事業が実施された。

また、魅力ある資源の連携として、大宮盆栽美術館を会場に、「音楽」と連携した事業を実施するとともに、魅力ある資源の発信として、シティセールスの一環として都心部での都市PRイベントの開催や、ウェブサイトを活用した情報発信、大宮盆栽を世界に発信する「世界盆栽大会」に向けた支援が行われる。

まとめ

基本施策、重点プロジェクトともに、関連事業が実施されていないものはないが、事業数という観点から見ると、施策ごとにばらつきが見られる。

基本施策においては、基本施策4「文化芸術に対する理解及び関心の促進」が87事業であるのに対し、基本施策7「文化芸術活動の場となる施設の充実」は15事業と、昨年度同様に最も事業数が少なく、今後の施策について検討する必要があると思われる。

また、基本施策に位置付けた「新たな視点」から見た事業の展開状況を見ると、教育や観光など「幅広い分野との連携」の面では、鉄道のまち大宮鉄道ふれあいフェアにおいて経済分野との連携が行われているほか、また、プライマリーコンサート、小学校における盆栽事業においては教育分野との連携が行われている。「関係団体との連携」の面では、大宮総合車両センターの見学や鉄道博物館とコラボグッズを作成する事業など、JR 東日本や鉄道博物館との連携事業を行っているが、計画の目指す将来像である「まちづくり」の視点から、他の分野においても今後さらなる推進を図る必要があると思われる。

重点プロジェクトにおいては、重点プロジェクト1「文化芸術を活かしたまちの活性化」、重点プロジェクト2「文化芸術都市創造を担う人材の育成」とともに、国際的な芸術祭である「さいたまトリエンナーレ2016」の開催に伴い、アーティスト・イン・レジデンスの実施やボランティア活動の支援を実施する。今年度は、さいたまトリエンナーレ2016の開催に合わせ、市民プロジェクトや連携プロジェクト事業も実施されることから、関連の事業もさらに充実すると思われる。

重点プロジェクト3「さいたま市の魅力ある資源の活用と発信」については、「盆栽」、「漫画」、「人形」、「鉄道」といった資源の個別事業の実施は数多く行われているが、魅力ある資源の連携に関する事業は年々少なくなり、「大宮盆栽美術館でのロビーコンサート」だけであるため、今後は、どのように連携を進めるか検討する必要があると思われる。情報発信については、ウェブサイトや動画を使う、市内外におけるイベントでPRを行うなど多様な方法を活用しており、今後も引き続き国内外へ広く本市の魅力を発信していく必要があると思われる。

平成 28 年 11 月 25 日
文化芸術に関する意見交換会
意見書

さいたま市文化振興課 宛

〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-4

ファックス 048-829-1996

メール bunka-shinko@city.saitama.lg.jp

* 12月7日（水）までに御提出ください。

1 施策集について

2 さいたまトリエンナーレ2016について

御名前 _____

さいたま トリエンナーレ 2016

2016.9.24-12.11

生活都市から生まれる「想像力」の祭典

未来の想像!
資料3 *ing the Future!*

SAITAMA
TRIENNALE
2016
さいたまトリエンナーレ2016



開催概要 / Information

さいたまトリエンナーレ2016

会期:2016年9月24日(土)~12月11日(日) [79日間]

開催エリア:与野本町駅~大宮駅周辺、武蔵浦和駅~中浦和駅周辺、岩槻駅周辺

定休日:水曜(ただし11/23[水・祝]は開場、翌11/24[木]は休み) 開場時間:10:00-18:00(入場は17:30まで) 鑑賞無料(一部の公演・上映を除く)
主催:さいたまトリエンナーレ実行委員会 ディレクター:芹沢高志(P3 art and environment 統括ディレクター)

Period: September 24 (Sat) – December 11 (Sun), 2016

Main Areas: Yonohommachi Station–Omiya Station area, Musashi-Urawa Station–Naka-Urawa Station area, Iwatsuki Station area
Open: 10:00–18:00 (last admission 17:30) Closed: Wednesdays (open on 11/23, closed on 11/24) Admission Free(except theater performances and movies)
Organizer = Saitama Triennale Executive Committee Director = SERIZAWA Takashi (Executive director of P3 art and environment)

アクセス / Access *時間は目安です

与野本町駅~大宮駅周辺

「大宮駅」JR京浜東北線 / 埼京線・川越線 / 宇都宮線・高崎線

- ①「東京駅」から約30分:JR上野東京ライン利用
- ②「新宿駅」から約35分:JR湘南新宿ライン利用
- ③「横浜駅」から約60分:JR上野東京ライン・湘南新宿ライン利用
- ④東北・山形・秋田・北海道・上越・北陸新幹線に接続

「与野本町駅」JR埼京線

- ①「東京駅」から約35分:JR上野東京ライン / 赤羽駅よりJR埼京線利用
- ②「新宿駅」から約35分:JR埼京線利用
- ③「横浜駅」から約65分:JR湘南新宿ライン / 池袋駅よりJR埼京線利用
- ④「大宮駅」から約5分:JR埼京線利用

武蔵浦和駅~中浦和駅周辺

「武蔵浦和駅」JR埼京線 / 武蔵野線

- ①「東京駅」から約30分:JR上野東京ライン / 赤羽駅よりJR埼京線利用
- ②「新宿駅」から約30分:JR埼京線利用
- ③「横浜駅」から約60分:JR湘南新宿ライン / 池袋駅よりJR埼京線利用
- ④「大宮駅」から約10分:JR埼京線利用

「中浦和駅」JR埼京線

- ①「武蔵浦和駅」から約2分:JR埼京線利用
- ②「大宮駅」から約10分:JR埼京線利用

「西浦和駅」JR武蔵野線

- ①「武蔵浦和駅」から約2分:JR武蔵野線利用
- ②「大宮駅」から約20分:JR埼京線 / 武蔵浦和駅よりJR武蔵野線利用

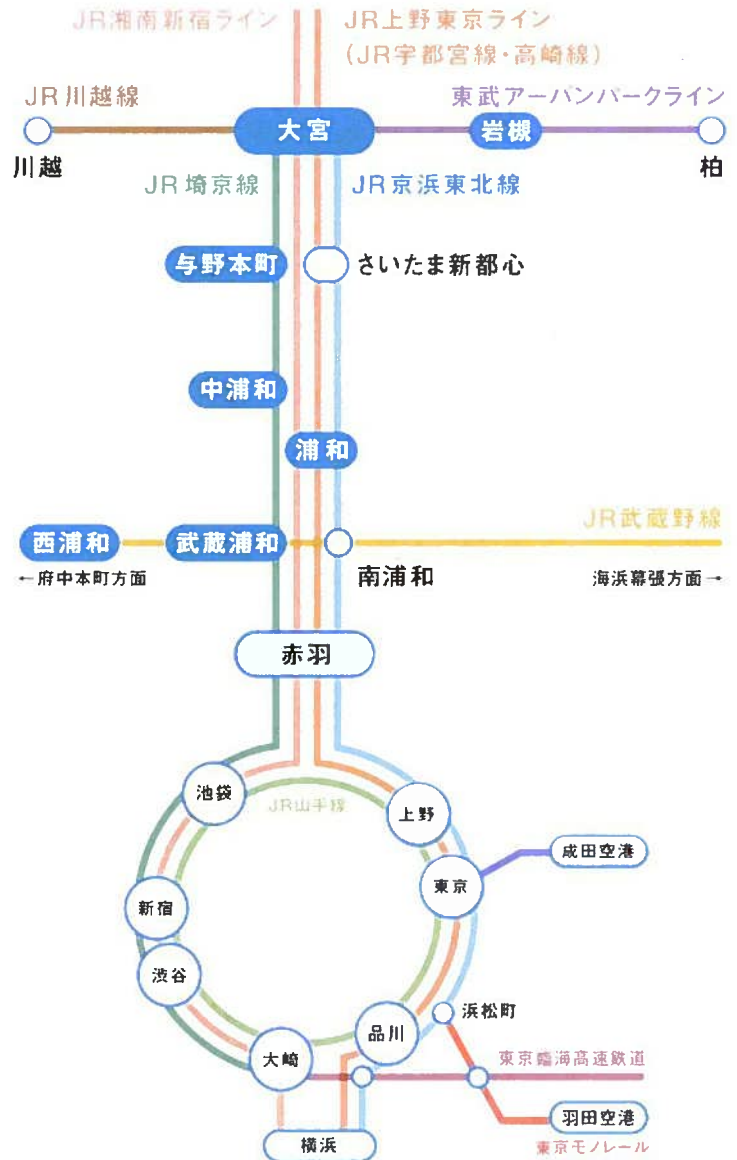
「浦和駅」JR京浜東北線 / 宇都宮線・高崎線

- ①「東京駅」から約25分:JR上野東京ライン利用
- ②「新宿駅」から約30分:JR湘南新宿ライン利用
- ③「横浜駅」から約55分:JR上野東京ライン・湘南新宿ライン利用
- ④「大宮駅」から約8分:JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線利用

岩槻駅周辺

「岩槻駅」東武アーバンパークライン

- ①「大宮駅」から約10分:東武アーバンパークライン利用
- ②「柏駅」から約55分:東武アーバンパークライン利用



関連事業(さいたま市実施事業)

市民プロジェクト

市内の文化施設を会場として、開催テーマ「未来の発見!」に沿った演劇、音楽、パフォーマンス公演やアート作品の展示を行う参加者公募型のプロジェクトを実施するほか、市内の文化芸術団体などと相互協力・連携して、プロジェクトを展開していきます。

連携プロジェクト

市内の多彩な文化施設などと連携し、さいたまトリエンナーレ2016の開催趣旨に沿って実施される事業を(さいたまトリエンナーレ2016連携プロジェクト)として、共催、相互PRなどを行います。

その他関連事業

アーティスト・オン・サイトなど市内事業所が実施する事業、教育機関などさまざまな団体が行う事業と連携を図り、共にトリエンナーレを盛り上げます。

#さいとり#SAITORIでSNS「さいとり」をもっと楽しもう!
SNSアンバサダー募集中

#さいとり #SAITORI

さいたまトリエンナーレ2016

Saitama Triennial

公式ガイドブック

「さいたまトリエンナーレ2016公式ガイドブック」(9月16日発売)

定価1,000円(税込) 市内書店、アート専門店などで販売。

出品作品やアーティスト情報に詳細マップのほか、さいたまにまつわるトリアやまち情報も収録したハンディサイズのガイドブック。市内の会場巡りをもっと便利に、楽しくなります。

このイベントは、開催に要する経費としてさいたま市から5億3560万円(平成28年度)が交付されています。

さいたまトリエンナーレ実行委員会事務局(さいたま市役所 文化振興課 トリエンナーレ係)

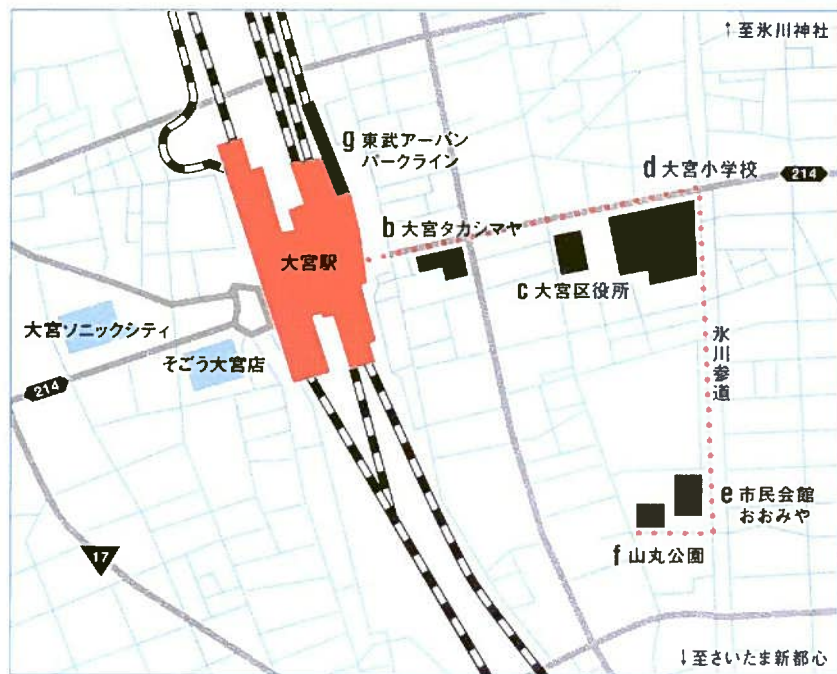
TEL: 048-829-1225 FAX: 048-829-1996

E-Mail: bunka-shinko@city.saitama.lg.jp

HP: http://saitamatriennale.jp

与野本町駅～大宮駅周辺

- a 彩の国さいたま芸術劇場 / SAINOKUNI SAITAMA ARTS THEATER
- b 大宮タカシマヤ ローズギャラリー / TAKASHIMAYA OMIYA STORE
- c 大宮区役所 / OMIYA WARD OFFICE
- d 大宮小学校 / OMIYA ELEMENTARY SCHOOL
- e 市民会館おおみや / SAITAMA CIVIC HALL OMIYA
- f 山丸公園 / YAMAMARU PARK
- g 東武アーバンパークライン / TOBU URBAN PARK LINE



武蔵浦和駅～中浦和駅周辺

- h 花と緑の散歩道 / FLOWER & GREEN PROMENADE
- i 西南さくら公園 / SEINAN SAKURA PARK
- j 旧部長公舎 (セレモニアートビレッジ)
THE FORMER OFFICIAL RESIDENCE FOR THE MANAGER OF SAITAMA PREFECTURE
- k 別所沼公園 / BESSHONUMA PARK
- l ユナイテッド・シネマ浦和 / UNITED CINEMAS URAWA
- m さいたまアートステーション / SAITAMA ART STATION
- n うらわ美術館 / URAWA ART MUSEUM
- o 桜環境センター / SAITAMA CITY SAKURA ENVIRONMENTAL CENTER



岩槻駅周辺

- p 旧民俗文化センター (セレモニアートホール)
THE FORMER SAITAMA PREFECTURAL FOLKLORE MUSEUM
- q K邸 / K HOUSE
- r 東玉社員寮 / THE DORMITORY OF TOUGYOKU CORPORATION
- s クレセントモール / CRESCENT MALL
- t インフォメーション / INFORMATION
- u シャトルバス発着所 / SHUTTLE BUS STOP



岩槻駅より「旧民俗文化センター」間を往復するシャトルバスは、平日30分間隔、土・日・祝日20分間隔で運行

さいたま市全体



●●● 徒歩ルート
● バス停留所

さいたまトリエンナーレ2016 テーマ=未来の発見!

127万もの人々が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだそうとする国際芸術祭。テーマは「未来の発見!」。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。土地の歴史やまちの構造を想起させる、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちの多様で多彩な想像力に触発されて、私たちはさまざまな未来を夢見ていく。作品はすべて新作。日本を代表する生活都市から生まれる、想像力の祭典をお楽しみください。

—さいたまトリエンナーレ2016 ディレクター 芹沢高志

Saitama Triennale 2016 Envisioning the Future!

Home to some 1.27 million people, Saitama Triennale 2016 will newly be launched as an international art festival open to the world and serving as a platform for creativity and exchange. The theme for 2016 is "Envisioning the Future!" The festival is not only about appreciating art, but about making and participating it, too. Taking place at various locations, the festival will offer foresights of history and structure of its own land. The various and diverse imaginations of the artists from Japan and worldwide shall allow us dream our own individual future. All the artworks are new works. From the city representing Japan as the home of dwellers, we hope you all enjoy this celebration of imagination.

—Saitama Triennale 2016 Director SERIZAWA Takashi

アートプロジェクト Art Projects

参加アーティスト Artists

- アルファベット記号は会場(マップページ)。
- ()内は出身国、《 》内は作品名、作品写真は一部
- *は上演、上映スケジュールを公式ウェブサイト参照



illustration: ADYAMA Yasuyuki

SMF(Saitama Muse Forum)(Japan)* (SMF学校)SMF School

既存のジャンルにとらわれない自由で多彩なアートプログラムを企画してきたSMFが、トリエンナーレのために学校を開設! 建築・ダンス・造形美術・パフォーマンス・音楽などにまつわるユニークな授業を毎週全曜(夜)、土曜・日曜日に開催。

①

Untitled Drawing Project, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

鈴木桃子/SUZUKI Momoko(Japan)
《アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト》
Untitled Drawing Project
「BECOMING」というテーマのもと、鉛筆によるドローイングで構成されたインスタレーション作品。真白な壁から始まったドローイングはやがて壮大な宇宙の生命のサイクルとなり、最後に何も無い空間「形の無い宇宙」に導いていく。

①

Discovering the sense of place(detail), 2016 photo: NAGATSUKA Hideto

高田安規子+取子
TAKADA Akiko & Masako(Japan)
《土地の記憶を辿って》Discovering the sense of place
《土地の記憶を辿って》Discovering the sense of place
縄文期には海に面していたとされる、かつて使われていた住宅が会場となる。長い年月を連想させる自然の様相をモチーフにした紋飾により家そのものを再生させる。

①

The Seed is A Ship @ Bashonoma Park, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

日比野克彦/HIBINO Katsuhiko(Japan)
《種は船プロジェクトinさいたま》
The Seed is A Ship in Saitama
日本全国の地域や人々をつなぐ「種は船プロジェクト」が別所沼公園に登場。ワークショップと展示を通じて、さいたまで新たな記憶を積み込んでいく。

①

Nuclear Nation 2016 ©2016

ロングフィルム・シアター/Long Film Theatre (「ハッピーアワー」「雲の轍」「わたしはロランス」「フタバから映画ジャンルの中でも本数の少ない「長尺映画」に選ばれる状況が違った景色の広がりが見えるような、そして今日からまた心温か

①

Array #1 2014, 2014

アダム・マジヤール
Adam MAGYAR(Hungary)
《ステンレス、大宮》Stainless, Omiya. (アレイ #3) Array #3
独自に開発した撮影機材と技術を使って大宮駅のホームや構内の人々を撮影した作品。ひとりの人物の映像でも少しずつ撮影された時間が異なるため、スーパースローモーションの効果も相まって、個々の人間の姿や動作が劇的に強調され深い印象をもたらす。

①

Elemental Detection, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

目/Mé(Japan)
《Elemental Detection》
既存の視点を覆すような世界を創出する活動で、今最も注目のアーティストユニット。旧民俗文化センターの既視感に触発された大型インスタレーション作品により、日常生活に突如立ち現れる非日常空間、想像を超えた空間を生み出す。

①

Laundry of the Senses, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

西尾美也/NISHIO Yoshinari(Japan)
《感覚の洗濯》Laundry of the Senses
「縫い」や「洗濯」について様々な視点から制作を続けているアーティスト。さいたまでは、市民と共に公園で洗濯を行い、またなかに万国旗のように干すことで祝祭的な「洗濯物の風景」を作り出すワークショップを開催した。この古くて新しい洗濯文化の記録をインスタレーションとして展開。

①

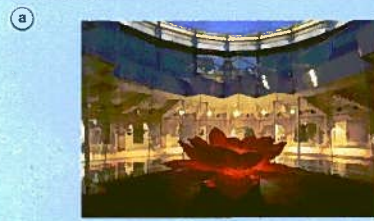
Collecting train windows(detail), 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

大洲大作/OOZU Daisaku(Japan)
《Commuter / 通う人》Commuter
《車窓をつつめる》Collecting train windows
さいたまに暮らす人が日々乗る通勤電車。その車窓にうつる光と影、営みと風景から発見し、構成するインスタレーション作品《Commuter / 通う人》と、寄せられる市民の声を反映してゆく《車窓をつつめる》プロジェクトを展開する。

期間限定アートプロジェクト&イベント 【アーティスト】/タイトル/ジャンル/会場/日程

【長島 隆 + やじるしのチーム】	《—》/市民参加プロジェクト/市内各所/11月下旬まで
【大洲大作】	《車窓をつつめる》プロジェクト/写真(情報募集中)/さいたま市及びその周辺の車窓/11月下旬まで
【日本相模間芸術作曲家協議会(JACSHA)】	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》に向けたワークショップ/ワークショップ/市民会館いわつき 他/9/22、9/30、10/1
【磯辺行久】	《エアードーム:さいたまトリエンナーレ2016》/インスタレーション/山丸公園/9/22~10/2
【ウィスット・ボンニミット】	似顔絵イベント/パフォーマンス/旧民俗文化センター/9/24
【ユン・ハンソル】	《サイタマ・フロンテージ》/移動型パフォーマンス/東武鉄道列車内/9/24、9/25、10/8、10/9 14:06 大宮駅発
【ダンカン・スピークマン + サラ・アンダーソン】	《1000のデュオのための曲》/体験型サウンド・インスタレーション/大宮区役所からスタート/9/24~12/11 13:00~20:00(19:00最終受付) 定休日:火・水
【鈴木桃子】	《アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト》/インスタレーション、パフォーマンス/旧部長公舎/公式ウェブサイトにて告知
【向井山朋子】	《Home》/インスタレーション、パフォーマンス/K 邸/展示:会期中 15:00-19:00(ただし火・水、10/10~10/16、10/29~11/2を除く) 上演:毎週土曜日(ただし10/15、10/29を除く) ①15:00-15:40 ②18:00-18:40
【SMF(Saitama Muse Forum)】	SMF学校「都市計画と建築」/ワークショップ、レクチャー/市民会館おおみや 旧地下食堂/9/25~10/7(金・土・日)
【日本相模間芸術作曲家協議会(JACSHA)】	JACSHAとさいたま触れ太鼓隊による《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》/イベント/岩槻区まちなか各所、クレセントモール/10/2 13:00~15:45
【ロングフィルム・シアター】	「ハッピーアワー」とトークショー/映画上映/ユナイテッド・シネマ浦和/10/7 11:00-17:02(上映)+1H
【SMF(Saitama Muse Forum)】	SMF学校「コラボレーション」/ワークショップ、レクチャー/市民会館おおみや 旧地下食堂/10/8~10/29(金・土・日)

与野本町駅～大宮駅周辺 ▶



Breathing Flower, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



Happy Happy, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



2018 photo: KAWASE Kazuo

チェ・ジョンファ/CHOI Jeong Hwa (Korea)

《息をする花》Breathing Flower/《ハッピー・ハッピー》Happy Happy

ダイナミックで祝祭的な作品2点をさいたま芸術劇場に展示。プラスチックの日用品で構成された《ハッピー・ハッピー》と、柔らかな動きで静かに呼吸を繰り返す蓮の花の巨大なオブジェ《息をする花》。どちらの作品も、アートは生活に寄り添うものであり、そして誰もがアーティストに成り得るというチェ・ジョンファの全作品に通ずるテーマを表現している。

長島 碩+やじるしのチーム
NAGASHIMA Kaku & The Team for Yajirushi (Japan)

創作家・太田省吾による演劇作品「(やじるし)」シリーズの着想を得た、市内全域に一を掲げる誰もが参加できるプロジェクト。またなかには出現した一が写真におさめられ展示されている。

示作品と異なる
ドブックで要確認

武蔵浦和駅～中浦和駅周辺 ▶



Air Dome; Saitama Triennale 2016, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

磯辺行久 / ISOBE Yukihisa (Japan) *
《エアードーム》さいたまトリエンナーレ2016
Air Dome; Saitama Triennale 2016

1970年、アメリカで開催された第1回アースデイにてエアードームを発表。全世界的に環境への関心が高まったこの時代から40年余りがたつたいま私たちは当時描いた未来の只中にいる。これからの未来を考えるために新たなエアードームを展示する。



Saitama Frontage, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ユン・ハンソル / YOON Hansol (Korea) *
《サイタマ・フロンテージ》Saitama Frontage

実際に運行している車両を舞台上に練り上げられる新作演劇パフォーマンス。車両内、プラットフォーム、車窓からの風景、あらゆる場所に演出の仕掛けが散りばめられ観客はフィクションと現実が混在する車両へと乗車する。



STATION TO STATION, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ダニエル・グェティン
Daniel GÖTTING (Switzerland)
《STATION TO STATION》

トリエンナーレカラーをベースにした、2色のカラフルなフィルムによるラッピングやペイントによる作品を設置。祝祭的な環境をつくることで、日常の風景をアーティストックな空間へ変ぼうさせる。



Road of Time, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ウィット・ポンニミット
Wisut PONNIMITT (Thailand)
《時間の道》Road of time

「タムクンの愛称で知られるタイの漫画家による作品。花と歩道の道路標線に、漫画から飛び出した「ママアンちゃん(タイ語でマンガの意味)」というキャラクターが登場。未来の目に映るウィットのある「ひとことシリーズ」を展開する。



Documentary Japan, Big River Films

pan) *

く離れて2016総集編「0.5ミリ」銀密さ」
間。スクリーンの中の日常を遠体映し、劇場から一步外へ出たとき、
んでいけると思えるであろう6作品を厳選、上映。



New Antique Market in Nagasaki, 2016 © Motoyuki Shitamichi

新しい骨董(山下 剛光、下道 善行、影山 裕樹)
NEW ANTIQUE [YAMASHITA Hikaru & SHITAMICHI Motoyuki & KAGEYAMA Yuki] (Japan) *

《新しい骨董市 / 記録映像》The New Antique Market / Documentation Video
異なる土地で活動するメンバーが、時間を越えあり続けるものや
事を「新しい骨董」ととらえ、まちやインターネットに溢れるさまざまな
物事を探索し、その美しさや価値を問うプロジェクト。



SaïtaMandala, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

チェ・ジョンファ / CHOI Jeong Hwa (Korea)
《サイタマンドラ》SaïtaMandala

リサイクルのため圧縮されキューブ状になったペットボトルを素材にした作品。市民はペットボトルを使い不要物として廃棄したことで、自動的にこの作品に参加していることになる。



Voyager 2011, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

藤城光 / FUJISHIRO Hikari (Japan)
《ボイジャー 2011》Voyager 2011

東日本大震災以降、「PRAY+LIFE」の活動として人々の
や体験をインタビュール発信してきた。今回は新作として、埼玉
に避難してきた方々を含む「ふくしま」にまつわる経験のイ
ビュア、思い出の品をインスタレーションとして発表する。



The Return of J.L., 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

小沢剛 / OZAWA Tsuyoshi (Japan)

《帰って来たJ.L.》The Return of J.L.

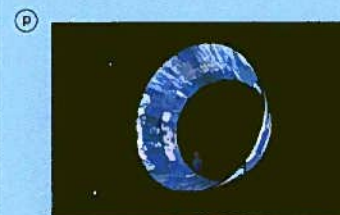
歴史上の突如する人物を題材に、事実とフィクションを重ねあわせ物語を構築する「帰って来た」シリーズの最新作。50年前、東京とマニラの若者を熱狂の渦に巻き込んだ四人組のひとり、J.L.をテーマに未来を問う《帰って来たJ.L.》を展示。



Future is a gift, 2016 © Wisut PONNIMITT

ウィット・ポンニミット
Wisut PONNIMITT (Thailand)

《未来はプレゼント》Future is a gift
「空から僕たちに落ちてくる未来は素敵なプレゼント」というコンセプトのもと、未来を予感させるストーリーを旧民俗文化センター回廊にて展開。



THERE WAS WATER, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ソ・ミンジョン / SEO Min Jeong (Korea)

《水がありました》THERE WAS WATER

氷川神社境内で撮影した素材を用いた、大がかりな映像インスタレーションを発表する。母国である韓国、学生として滞在した日本やドイツでの経験など、多文化を横断し普遍的な視線を獲得してきた彼女の様々な視点と時間が内包された作品。



Room of Polar Bears, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

多和田葉子 / TAWADA Yoko (Japan)

《白熊の部屋》Room of Polar Bears
《さわれる文字の部屋》Room of Touchable Letters
《L字の部屋》L-shape Room

旧民俗文化センターの植物の痕跡、記憶からテキストを書き出すほか、書物、点字、活版印刷など文字や言葉を体感する。小説家ならではの「文学インスタレーション」を行う。

- 【ロングフィルム・シアター】 『銀密さ』&トークショー / 映画上映 / ユナイテッド・シネマ浦和 / 10/8 13:00-17:30(上映)+1H
- 【大洲大作】 トークイベント / ゲスト: 佐藤守弘(京都精華大学) / トーク / 旧民俗文化センター / 10/9 13:30
- 【日比野亮彦】 ワークショップ: 日比野亮彦とともに別所沼公園を巡るツアー&写生大会 / ワークショップ / 別所沼公園 / 10/15、10/16 13:00-16:00
- 【SMF(Saitama Muse Forum)】 SMF 学校「パフォーマンス」/ ワークショップ、レクチャー / 市民会館おおみや / 旧地下食堂 / 10/30~11/5(金・土・日)
- 【ホームベース・プロジェクト】 (OPEN HOUSE) / パブリック・プログラム(展示) / 東玉社員寮 / 11/3 ~ 12/11(ただし11/7~11/9を除く)
- 【ロングフィルム・シアター】 『雪の糰(わだち)』&トークショー / 映画上映 / ユナイテッド・シネマ浦和 / 11/4 13:00-16:16(上映)+1H
- 【ロングフィルム・シアター】 『わたしはロランス』&トークショー / 映画上映 / ユナイテッド・シネマ浦和 / 11/5 13:00-15:48(上映)+1H
- 【SMF(Saitama Muse Forum)】 SMF 学校「都市とアート」/ ワークショップ、レクチャー / 市民会館おおみや / 旧地下食堂 / 11/6~12/1(金・土・日)
- 【多和田葉子】 多和田葉子朗読パフォーマンス / 朗読会 / 旧民俗文化センター / 11/6 14:00-16:00
- 【大友良英+Asian Music Network】 Ensembles Asia Special 大宮小学校対象ワークショップ(一般参加なし) / ワークショップ / 大宮小学校 / 11/24
- 【大友良英+Asian Music Network】 Ensembles Asia Special トーク&ライブ / パフォーマンス、ライブ / 市民会館おおみや / 11/25 19:00-21:00
- 【大友良英+Asian Music Network】 Ensembles Asia Special アーメント&デュオのワークショップ / ワークショップ / 大宮小学校 / 11/26 10:00-13:00 / 14:00-17:00
- 【大友良英+Asian Music Network】 Ensembles Asia Special アンサンブルズ・アジア・スペシャル / パフォーマンス / 大宮小学校 体育館 他 / 11/27 12:00-16:30
- 【SMF(Saitama Muse Forum)】 SMF 学校「映像とデザイン」/ ワークショップ、レクチャー / 市民会館おおみや / 旧地下食堂 / 12/2~12/4(金・土・日)
- 【ロングフィルム・シアター】 『0.5ミリ』&トークショー / 映画上映 / ユナイテッド・シネマ浦和 / 12/2 13:00-16:16(上映)+1H
- 【ロングフィルム・シアター】 『フタバから遠く離れて 2016 総集編』&トークショー / 映画上映 / ユナイテッド・シネマ浦和 / 12/3 13:00-16:15(上映)+1H
- 【日本相模間芸術作曲家協議会(JACSHA)】 『タイトル未定』/ トーク、ワークショップ / 公式ウェブサイトにて告知 / 12/11(予定)



EIZO ENGEKI op.1 Ayana Shihbashi, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

岡田利規 / OKADA Toshiki (Japan)
(映像演劇 op.1 惟橋綾部) EIZO ENGEKI op.1 Ayana Shihbashi
(映像演劇 op.2 青柳いづみ) EIZO ENGEKI op.2 Izumi Aoyagi
区役所の使われなくなった厨房と食堂を舞台に書き下ろされた
戯曲を、演劇と映像が融合した手法で展開。まだ見ぬ新しい
演劇を岡田利規が「映像演劇」と名付け、初演する。



Songs For A Thousand Duets, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ダンカン・スピークマン+サラ・アンダーソン
Duncan SPEAKMAN & Sarah ANDERSON (UK) *
(1000のデュオのための曲) Songs For A Thousand Duets
ヘッドフォンから流れ出る音、音楽、音声が、日常のまじや風景をまる
で映画のワンシーンのように変え参加者は日常とフィクションの狭間
を行き交う。ふたり一組で楽しむ体験型サウンド・インスタレーション。



Orchestra TOKYO-FUKUSHIMA, 2011

大友良英+Asian Music Network
OTOMO Yoshihide & Asian Music Network *
(Ensembles Asia Special)
アジアからのアーティストが一般の参加者と共に作り上げる
音楽パフォーマンス。ユエン・チーワイとdj sniff (水田拓郎)
によるAsian Music Networkと大友良英がアジアとさいたま
が交差する三日間を演出。



DROPS, 2016 photo: NAGATSUKA Hideto

秋山さやか / AKIYAMA Sayaka (Japan)
《帯》DROPS
国内外を巡りつつ、その時の思いを色とりどりの縫い目に込めて
表現する。約4ヶ月の大宮での滞在制作の中で、作家が見つけた
物や、自分宛てに毎日投函した手紙などをもとに、まちと人々
との出逢い、記憶が紡ぎ出され、可視化される空間を作り出す。



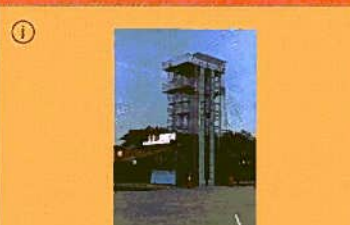
Saitama Businessman, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

アイガルス・ビクシェ
Aigars BIKŠE (Latvia)
《さいたまビジネスマン》 Saitama Businessman
毎日合計約50万の人が行き来しているという生活都市・さい
たま。全長9.5mのビジネスマンはユーモアとともに現代社
会の姿を映し出す。新幹線が走る高架下、芝生の上にとったり
と寝そべるビジネスマンは何を想う。



House and Events: Conversations 1971-2006, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

松田正隆+遠藤幹大+三上亮
MATSUDA Masataka & ENDO Mikihiro & MIKAMI Ryo (Japan)
《家と出来事 1971-2006年の会話》
House and Events: Conversations 1971-2006
現在は使われていない空家住宅を舞台に、想像と現実の風景を重ね合わせたインスタレーションを展開。かつてそこにあった出来事
と、家という場の記憶を浮かび上がらせる。演劇、映画、美術、といった異なるジャンルの作家による共同制作作品。



Still photo from video Rescue, 2016

野口里佳 / NOGUCHI Rika (Japan)
《はじめのことは》 Introduction
さいたま市見沼区で生まれた野口にとって、故郷は「世界の
中心」のような場所だった。世界各地で自分しか見えない
ものを繰り返し見てきたまなどさいたまを見つめ直し、写真
作品および映像作品を展示。



JACSCHA Dohyo-Matsuri in Iwatsuki, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

日本相撲聞芸術作曲家協議会(鶴見幸代+野村誠+樫山智子)
JACSCHA [TSURUMI Sachiyo & NOMURA Makoto & MOMIYAMA Tomoko] (Japan)
(JACSCHA土俵祭り in岩槻) JACSCHA Dohyo-Matsuri in Iwatsuki
《相撲聞芸術研究室》 Sumo Hearing Arts Research Station
相撲をこよなく愛する3人のちよっと変わった作曲家ユニット「日本相撲聞芸術作曲家協議会」略してJACSCHA(ジャクシャ)が、
「相撲」を通じてさいたまのまちと音楽に繋がるプロジェクトを展開。



Had Rhino's horn been longer, the world would have been changed, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

川並龍三 / KAWANO Ryuzo (Japan)
《犀の角がもう少し長ければ歴史は変わっていただろう》
Had Rhino's horn been longer, the world would have been changed.
現在私たちが存在している世界「さいたま」と、同時に存在する
並行世界「さいたまB」の発掘キャラバン隊の活動により発
見された、埋蔵物と発掘現場を視覚化した歴史改変SF作品。



Adapu-teishon, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

オクイ・ララ / Okui LALA (Malaysia)
《アダプテーション》 adapu-teishon
「adaptation(適応)」をキーワードに、さいたま市内で活動
する外国人をもつ方々とともに作品を制作。異なる文化
や言語、文脈の間で巻き起こることをすくい取る。制作の
過程も構成要素とする映像&インスタレーション作品。



Untitled (Pillows), 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

マテイ・アンドラシュ・ヴォグリンチッチ
Matej Andraž VOGRINČIČ (Slovenia)
《無題(枕)》 Untitled (Pillows)
普段は見慣れぬざれがちなありふれた場所をありふれた素材で埋
めつくす手法で、地域や伝統、歴史の特有性を視覚化するアー
ティスト。今回は枕を使って、日常では見ることのない新鮮な光
景で鑑賞者の感覚を揺さぶる。



Film still from Invisibility, 2016 photo: Chai Siris

アピチャポン・ウィーラセタクン
Apichatpong WEERASETHAKUL (Thailand)
《Invisibility》
映画と美術の世界で活躍する、タイの奇才による新作映像イ
ンスタレーション。さいたま市内で録音した音に着想を得て、
影を語り部とした幻想世界を展開する。



HOME, 2016 photo: KITA Naoto

向井山朋子 / MUKAIYAMA Tomoko (Japan) *
《HOME》
価値観の揺らぐ時代、私たちにあって家とは、家庭とは、家族とは
? さいたま市内の古い家屋を舞台に、向井山朋子が演出、音
楽、映像を手掛け、世界的ダンサー・瀧澤水麻の身体が私たちに
新たな記憶を呼び起こす。インスタレーション&パフォーマンス。



HomeBase Project SAITAMA 2016, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ホームベース・プロジェクト
Home Base Project (NYC, Berlin, Jerusalem, Saitama City) *
《ホームベースプロジェクトさいたま2016》 HomeBase Project SAITAMA 2016
「Homeとは何か」をコンセプトとする、移動型国際アーティスト・
イン・レジデンス(AIR)プロジェクト。岩槻区を拠点に国内外の
アーティスト複数名による滞在プロジェクトを実施。共同生活
とリサーチ成果を「オープン・ハウス」として一般公開する。

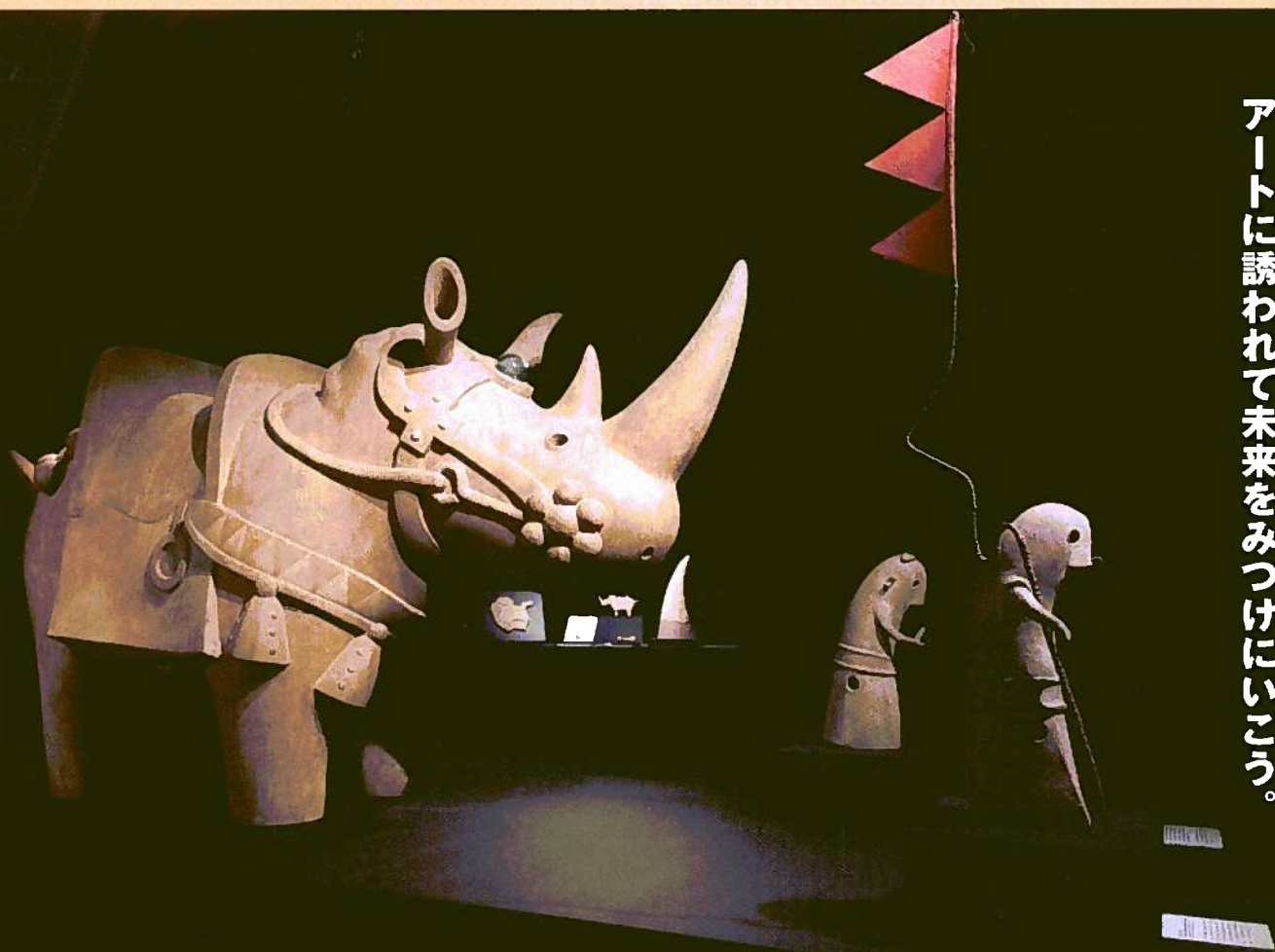
協賛: Ceremony, エコ計画, NTT東日本, 埼玉トヨペット, スクール21, mainichi, 武蔵野銀行, アイルグループ, Asahi, SHISEIDO, nem, 天然炭酸の水, ヤオコ, 埼玉自動車販売, 日米レジン株式会社, MITSUBISHI, UNITED CINEMAS

助成: 平成28年度文化庁文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業, SOMPO 株式会社, 損保ジャパン日本興亜, KOREA KF FOUNDATION, 公益財団法人日韓文化交流基金, NOMURA 野村材団

後援: 駐日ハンガリー共和国大使館, 駐日イスラエル大使館, 駐日ラトビア共和国大使館, 駐日マレーシア大使館, 在日イスラエル大使館, 在東京タイ王国大使館

SAITAMA TRIENNALE 2016

さいたま トリエンナーレ 2016



3年に一度の国際芸術祭
閉幕まで残すところわずか。
アートに誘われて未来をみつけにいこう。

未来の発見!

2016年9月24日[土]—12月11日[日] 79日間

定休日=水曜 (ただし11/23[水・祝]は開場、翌11/24[木]は休み) 開場時間:10:00-18:00 (入場は17:30まで)

開催エリア=与野本町駅~大宮駅周辺、武蔵浦和駅~中浦和駅周辺、岩槻駅周辺

鑑賞無料 (一部の公演、上映を除く)

主催=さいたまトリエンナーレ実行委員会
ディレクター=并沢高志 (P3 art and environment統括ディレクター)

公式ウェブサイト

<http://saitamatriennale.jp>



SAITAMA
TRIENNALE
2016
さいたまトリエンナーレ 2016

アクセス

与野本町駅～大宮駅周辺

- ①大宮駅 JR 京浜東北線・埼京線・川越線・宇都宮線・高崎線
- ②東京駅 からの約 30 分：JR 上野東京ライン 利用
- ③新宿駅 からの約 35 分：JR 湘南新宿ライン 利用
- ④横浜駅 からの約 65 分：JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン 利用
- ⑤東北・山形・秋田・北海道・上越・北陸新幹線に接続
- ⑥与野本町駅 JR 埼京線
- ⑦東京駅 からの約 35 分：JR 上野東京ライン・赤羽駅より JR 埼京線 利用
- ⑧新宿駅 からの約 35 分：JR 埼京線 利用
- ⑨横浜駅 からの約 65 分：JR 湘南新宿ライン・池袋駅より JR 埼京線 利用
- ⑩大宮駅 からの約 5 分：JR 埼京線 利用

武蔵浦和駅～中浦和駅周辺

- ①武蔵浦和駅 埼京線 / 武蔵野線
- ②東京駅 からの約 30 分：JR 上野東京ライン・赤羽駅より JR 埼京線 利用
- ③新宿駅 からの約 30 分：JR 埼京線 利用
- ④横浜駅 からの約 60 分：JR 湘南新宿ライン / 池袋駅より JR 埼京線 利用
- ⑤大宮駅 からの約 10 分：JR 埼京線 利用
- ⑥中浦和駅 埼京線
- ⑦武蔵浦和駅 からの約 2 分：JR 埼京線 利用
- ⑧大宮駅 からの約 10 分：JR 埼京線 利用
- ⑨西浦和駅 JR 武蔵野線
- ⑩武蔵浦和駅 からの約 2 分：JR 武蔵野線 利用
- ⑪大宮駅 からの約 20 分：JR 埼京線 / 武蔵浦和駅より JR 武蔵野線 利用
- ⑫浦和駅 JR 京浜東北線 / 宇都宮線・高崎線
- ⑬東京駅 からの約 25 分：JR 上野東京ライン 利用
- ⑭新宿駅 からの約 30 分：JR 湘南新宿ライン 利用
- ⑮横浜駅 からの約 55 分：JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン 利用
- ⑯大宮駅 からの約 8 分：JR 京浜東北線・宇都宮線・高崎線 利用

岩槻駅周辺

- ①岩槻駅 東武アーバンパークライン
- ②大宮駅 からの約 10 分：東武アーバンパークライン 利用
- ③柏駅 からの約 55 分：東武アーバンパークライン 利用

与野本町駅～大宮駅周辺

- ①大宮駅 JR 京浜東北線・埼京線・川越線・宇都宮線・高崎線
- ②東京駅 からの約 30 分：JR 上野東京ライン 利用
- ③新宿駅 からの約 35 分：JR 湘南新宿ライン 利用
- ④横浜駅 からの約 65 分：JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン 利用
- ⑤東北・山形・秋田・北海道・上越・北陸新幹線に接続
- ⑥与野本町駅 JR 埼京線
- ⑦東京駅 からの約 35 分：JR 上野東京ライン・赤羽駅より JR 埼京線 利用
- ⑧新宿駅 からの約 35 分：JR 埼京線 利用
- ⑨横浜駅 からの約 65 分：JR 湘南新宿ライン・池袋駅より JR 埼京線 利用
- ⑩大宮駅 からの約 5 分：JR 埼京線 利用

武蔵浦和駅～中浦和駅周辺

- ①武蔵浦和駅 埼京線 / 武蔵野線
- ②東京駅 からの約 30 分：JR 上野東京ライン・赤羽駅より JR 埼京線 利用
- ③新宿駅 からの約 30 分：JR 埼京線 利用
- ④横浜駅 からの約 60 分：JR 湘南新宿ライン / 池袋駅より JR 埼京線 利用
- ⑤大宮駅 からの約 10 分：JR 埼京線 利用
- ⑥中浦和駅 埼京線
- ⑦武蔵浦和駅 からの約 2 分：JR 埼京線 利用
- ⑧大宮駅 からの約 10 分：JR 埼京線 利用
- ⑨西浦和駅 JR 武蔵野線
- ⑩武蔵浦和駅 からの約 2 分：JR 武蔵野線 利用
- ⑪大宮駅 からの約 20 分：JR 埼京線 / 武蔵浦和駅より JR 武蔵野線 利用
- ⑫浦和駅 JR 京浜東北線 / 宇都宮線・高崎線
- ⑬東京駅 からの約 25 分：JR 上野東京ライン 利用
- ⑭新宿駅 からの約 30 分：JR 湘南新宿ライン 利用
- ⑮横浜駅 からの約 55 分：JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン 利用
- ⑯大宮駅 からの約 8 分：JR 京浜東北線・宇都宮線・高崎線 利用

岩槻駅周辺

- ①岩槻駅 東武アーバンパークライン
- ②大宮駅 からの約 10 分：東武アーバンパークライン 利用
- ③柏駅 からの約 55 分：東武アーバンパークライン 利用

勝手に Follow us !! サイトりをあなたのSNSで盛りあげてください!

SNSアンバサダー募集中!!

- Instagram
#さいとり#SAITORI
- Facebook
さいたまトリエンナーレ2016
- Twitter
Saitama Triennial

<h3>関連事業 (さいたま市実施事業)</h3>	<p>市民プロジェクト 市内の文化施設を会場として、開催テーマ「未来の発見!」に沿った演劇、音楽、パフォーマンス公演やアート作品の展示を行う参加者募集型のプロジェクトを実施するほか、市内の文化芸術団体などと相互協力・連携して、プロジェクトを展開していきます。</p>
<p>連携プロジェクト</p>	<p>市内の多彩な文化施設などと連携し、さいたまトリエンナーレ2016の開催趣旨に沿って実施される事業を「さいたまトリエンナーレ2016連携プロジェクト」として、共催、相互PRなどを行います。</p>
<p>その他関連事業</p>	<p>アーティスト・オン・サイトなど市内事業所が実施する事業、教育機関などさまざまな団体が行う事業と連携を図り、共にトリエンナーレを盛り上げます。</p>

<h3>公式ガイドブック</h3>	<p>さいたまトリエンナーレ2016公式ガイドブック 定価1,000円(税込) 市内書店、アート専門店などで販売。出品作品やアーティスト情報、詳細マップのほか、さいたまにまつわるトリビアやまち情報も収録したハンディサイズのガイドブック。市内の会場巡りがもっと便利に、楽しくなります。</p>
<h3>お問い合わせ (平日8:30-18:00)</h3>	<p>さいたまトリエンナーレ実行委員会事務局(さいたま市役所 文化振興課 トリエンナーレ係) TEL 048-829-1225 FAX 048-829-1996 E-mail bunka-shinko@city.saitama.lg.jp</p>

<p>協賛</p>	<p>NTT東日本</p>	<p>埼玉トヨペット</p>	<p>助成</p>
-----------	---------------	----------------	-----------

一般社団法人浦和医師会 / 一般社団法人大宮医師会 / 片倉工業株式会社 / コーナンシティ / 株式会社カタヤマ / カルソニックカンセイ株式会社 / 埼玉信用金庫 / 埼玉中学・高等学校 / さいたま市歯科医師会 / さいたま商工会館 / 埼玉大学 / 株式会社ジャスト / 株式会社タムロン / 東京ガス株式会社埼玉支社 / 株式会社トロンマネージメント / ハイデイ日高 / ポーライト株式会社 / むさし証券株式会社 / コハマタイヤジャパン / ステッドラー日本株式会社

株式会社伊藤園 / 一般社団法人岩槻医師会 / 近畿日本ツーリスト株式会社 / 国際ロータリー第2770地区第2グループ / 一般社団法人さいたま市与野医師会 / さいたま農業協同組合 / 新日鉄住金エンジニアリング株式会社 / 南彩農業協同組合 / 断能信用金庫 / 株式会社富士薬品 / ボラスグループ / 株式会社ミス・ハリ / ケミテック株式会社 / 志水製菓店 / 一般社団法人マルタス・オ・ユザフヤ

駐日ハンガリー共和国大使館 / 駐日イスラエル大使館 / 駐日ラトビア共和国大使館 / 駐日マレーシア大使館 / 在日スイス大使館 / 在東京タイ王国大使館

このイベントは、開催に要する経費としてさいたま市から5億3,560万円(平成28年度)が交付されています。

さいたま市内の3エリアがメイン!

与野本町駅～大宮駅周辺

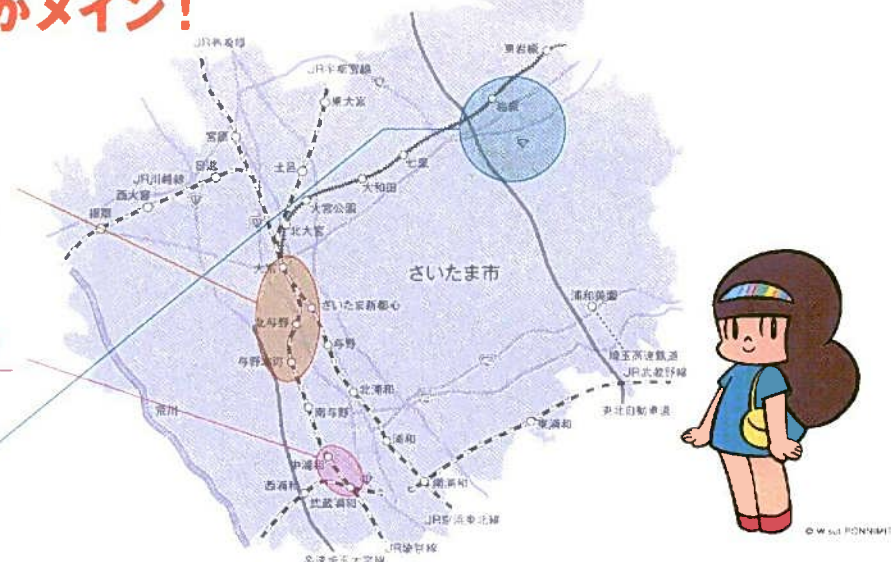
- (a) 彩の国さいたま芸術劇場
- (b) 大宮タカシマヤ ローズギャラリー
- (c) 大宮区役所
- (d) 大宮小学校
- (e) 市民会館おおみや
- (f) 山丸公園 *終了しました
- (g) 東武アーバンパークライン *終了しました

武蔵浦和駅～中浦和駅周辺

- (h) 花と緑の散歩道
- (i) 西南さくら公園
- (j) 旧部長公舎
- (k) 別所沼公園
- (l) ユナイテッド・シネマ浦和
- (m) さいたまアートステーション
- (n) うらわ美術館
- (o) 桜環城センター

岩槻駅周辺

- (p) 旧民俗文化センター
- (q) K邸
- (r) 東玉社員寮
- (s) クレセントモール *終了しました



大宮駅周辺

Omiya Sta. Area

与野本町駅周辺
Yonohomomachi Sta. Area

岩槻駅周辺

Iwatsuki Sta. Area

平日	日	祝日
9	9	42
10	10	42
11	10	42
12	10	42
13	10	42
14	10	42
15	10	42
16	10	42
17	10	42

武蔵浦和駅～中浦和駅周辺

Musashi-Urawa Sta. ~ Naka-Urawa Sta. Area

西浦和駅周辺
Nishi-Urawa Sta. Area

岩槻駅周辺

Iwatsuki Sta. Area

平日	日	祝日
9	9	42
10	10	42
11	10	42
12	10	42
13	10	42
14	10	42
15	10	42
16	10	42
17	10	42

与野本町駅～大宮駅周辺

作品を観るだけでなく、参加型のアートプロジェクトが多く、体験を楽しめるエリア。
イベントやワークショップに参加したり、作品の登場人物になって、世界のアーティストの創造の世界に触れてみよう。

チェ・ジョンファ 《ハッピーハッピー》

a 彩の国さいたま芸術劇場
(9:00-22:00 休館日:11/21、22、28、12/5)

美しい約100本の芸術は市民の手でつくられたアート!

2016年・夏にさいたま市内で行われたワークショップで参加者によって制作。普段の生活の中で馴染み深いプラスチックの日用品がその用途から離れ、個性あふれる造形に変化した様子は、まさに日常の中にアートがあることを気づかせてくれる。



Happy Happy, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



Beach House Flower, 2014 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

チェ・ジョンファ 《息をする花》

さいたまに息づく直径4mの
巨大なロータスの花。

b 大宮タカシマヤ ローズギャラリー (10:00-19:00)



↑ 2016 photo: KAWASE Kazuo

長島確 + やじるしのチーム 《-》

さいたま市内全域に誰もが参加できる、
やじるしの物語が展開する。
「-」を掲げる参加者を会期中募集

c 大宮区役所



6/20 14:00 at Aomori Suburb, 2014 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

岡田利規
(映像演劇 op.1 椎橋静部)(映像演劇 op.2 青柳いづみ)
演劇と映像の間を行き来した「映像演劇」と
いう未知なるジャンルを体験。



Spring for a Thousand Days, 2014 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ダンカン・スピークマン + サラ・アンダーソン (1000のデュオのための曲)

まちの風景に合わせた音源が参加者を「非日常」に
誘う、体験型サウンド・インスタレーション。
13:00-20:00 (最終受付 19:00)
定休日 | 火・水曜日(11/23開催、11/24は休み)

d 市民会館おおみや



Copy, 2014 photo: KAWASE Kazuo

秋山さやか 《*》

110日間大宮にて滞在制作。まちと人々との
出逢い、記憶、日常の「あしあと」を紡ぎだす。



Flower House, 2014 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

サイタマ・ミュージック・フォーラム (SMF学校)

自由で多彩なアートプログラムを企画してきた
SMFが、トリエンナーレのために学校を
開校!



Orchestra TOKYO-FUKUSHIMA!, 2011

大友良英 + Asian Music Network (Ensembles Asia Special)

d 大宮小学校
e 市民会館おおみや

11/25~27

アジアのアーティストと大友良英によるコラボレーション!

大宮小学校を舞台に、アジアからのアーティストやミュージシャンが一般参加者と一
緒に作り上げる音楽パフォーマンス。昔も今も人や物が交流してきた大宮のまちなか
で、アジアとさいたまの多様な文化が交差する3日間!

*3日間の内容はアートプロジェクト: イベントカレンダーを参照

f 山丸公園



At Dome, Saizumi, Tomioka 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

瀬辺行久

《エアードーム、さいたまトリエンナーレ 2016》

さいたまに突如現れた期間限定の巨大ドーム。
中に入ってアートを体験!

* 展示は終了しました

g 東武アーバンパークライン



Station Jinnai 2015 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ユン・ハンソル

《サイタマ・フロンテージ》

電車の車両が舞台になる、さまざまなボーダーを
行き来する演劇体験。

* 上演は終了しました

アートプロジェクト: イベント カレンダー

長島確 + やじるしのチーム - (やじるし)

参加者によって作られた数々のやじるしがまちなかのある場所を指し示す風景を作り出すプロジェクト。
11/23まで募集中。制作された「-」は撮影後、随時会場に展示され、ひとつの物語に。

SMF学校

様々なアートやパフォーマンスの講師を迎えて楽しむワークショップ&レクチャー

「都市とアート」 11/18、19、20 市民会館おおみや 旧地下食堂
「映像とデザイン」11/2、3、4 市民会館おおみや 旧地下食堂

大友良英 + Asian Music Network Ensembles Asia Special (3日間)

大友良英とアジアからのアーティストによるワークショップを経て、
最終日にはアーティストとワークショップ参加者による演奏を披露するプロジェクト。

■ トーク&ライブ (予約優先)

11/25 19:00-21:00 市民会館おおみや 小ホール

出演: 大友良英と Asian Music Network、アジア・日本からの招聘アーティスト

■ アーノント・ノンヤオのワークショップ「自転車を使って様々な音のなる楽器を作り演奏しよう」(要予約)

11/26 10:00-13:00 大宮小学校

■ デュト・ハルドノのワークショップ「古いカセットテープを使って新しい音楽をつくろう」(要予約)

11/26 14:00-17:00 大宮小学校

■ 大宮小学校アンサンブルズ・アジア・スペシャル(途中入場・退出自由)

11/27 12:00-16:30 大宮小学校 体育館 ほか

出演: 一般参加者、大友良英と Asian Music Network、アジア・日本からの招聘アーティスト

*各プロジェクト・関連イベントの詳細は公式ウェブサイトまたはガイドブックを参照

武蔵浦和駅～中浦和駅周辺

武蔵浦和駅から「別所沼公園」までの道すがらに出会う作品の数々。
 坂の上にある「旧部長公舎」では美しい作品のなかに気がつかなかった、さいたまの奥深さを見ることができる。

アイガルス・ピクシエ
 (さいたまビジネスマン)

① 西南さくら公園

巨大なビジネスマンが西南さくら公園に出現!
 広々とした公園に寝そべる巨大なビジネスマン。後ろの鉄道高架には見向きもせず、おだやかな表情で道行く人々の誰をも迎えてくれる。多くの人にとって歩き慣れた散歩道で出会えるビジネスマン。楽しい、ありがたい気分になるのはなぜだろう?



Saitama Businessman, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

② 花と緑の散歩道

STATION TO STATION 2016
photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

ダニエル・グエティン
 (STATION TO STATION)
 カラフルなラッピングで
 身近なまちの見え方がまったく変わる!


ウィスット・ボンニミット
 (時間の道)
 いつも見ている「看板」がいつもと違う
 風景を創り出す。



Head of time, 2016
 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

③ 別所沼公園

田比野亮家
 (海のないさいたまに「種は船」が登場する!)
 (種は船プロジェクト in さいたまドキュメント展) はアソツバックスで
 木・土・日・祝の10:00-15:00のみ鑑賞できます。



The Sea of Hope @ Boatman's Park, 2016
 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

④ ユナイテッド・シネマ浦和

ロングフィルム・シアター
 (0.5ミリ) 山手線が走り抜けて 2016 総集編
 普段上映の機会が少ない長尺映画に
 光を当て厳選した作品を上映。
 12/2・12/3のみ
 11:00-17:30(トークショー) [原由起]「雪の囃しわたしは
 ロマン」の上映は終了しました




Artwork © 2016
 © 2016 Documentary photo: Big Photo Inc.

⑤ さいたまアートステーション(10:00-19:00)

**新しい骨董(山手線が走り抜けて! 新山手線)
 (新しい骨董) 展示中**

SF? 近未来? 「新しい骨董」とは
 何かを見つけよう!

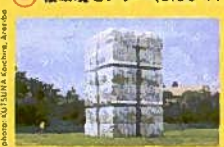


New Artwork Market on Kagurazaka, 2016
 © Makayuki Shimizu

⑥ 権現壇センター(9:00-17:00 定休日:月曜)

チェ・ジョンファ
 (サイタマンドラ)

みんなが利用している
 ペットボトルが作品に!?



Saitama, 2016
 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



鈴木桃子
 (アンタクト・ドローイング・プロジェクト)
 (セレモニーアートビレッジ)

① 旧部長公舎
 (セレモニーアートビレッジ)

時間と共に変化を遂げるドローイングパフォーマンス。
 時代の流れを感じさせる外観の住宅。一步入るとその外観からは想像していなかった、誰もが驚く空間が広がっている。真っ白な空間に漂う宇宙の壮大な生命のサイクルは1ヶ月以上かけて描いてきたドローイング。そして始まる本編——鑑賞者によって消されゆく姿をぜひ見てほしい。

柳田正隆 + 遠藤時大 + 三上亮
 (夜と白の道 167) 2016年10月31日
 住宅を舞台にした、俳優「不在」の
 “演劇インスタレーション”。
 (金曜日は20:00まで鑑賞可能)

野口星佳
 (はじめのどき)
 何気ない日常の風景の中に
 「世界の中心」がある。

高田安枝子 + 桃子
 (心地の家 2016年10月)
 さいたまに海と里山を出現させ、
 ひそやかに家を再生させる。



Photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

アートプロジェクト：イベント カレンダー

- 野口星佳 アーティスト・トーク(要予約)**
 11/15 19:00-20:30(18:30 開場) 日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」
- 鈴木桃子 アーティスト・トーク(要予約)**
 11/20 16:00-17:00 ゲスト：芹沢高志
 トーク後、ドローイングを鑑賞者が消すことができます(11/20～会期終了まで)
- ロングフィルム・シアター 「0.5ミリ」上映&トークショー**
 12/2 13:00-16:16(上映)
 16:30-17:30
 (トークショー：新藤由起/ノンフィクション作家 × 稲田豊史/編集/ライター)
 ユナイテッド・シネマ浦和
- ロングフィルム・シアター 「フタバから遠く離れて 2016 総集編」上映&トークショー**
 12/3 13:00-16:15(上映)
 16:30-17:30(トークショー：橋本佳子/本作プロデューサー × 芹沢高志)
 ユナイテッド・シネマ浦和
- *各プロジェクト・関連イベントの詳細は公式ウェブサイトまたはガイドブックを参照

岩槻駅周辺

かつて「わざの博物館」として親しまれた旧民俗文化センターは、大作が多く含まれるメイン会場のひとつ。点数も最多の14アートプロジェクト。駅周辺では古い個人宅や現在使われていない社員寮など、ごく日常的な場に創造的な時間や空間が立ち現れ、岩槻ならではの非日常の世界を楽しむ。



The Return of J.L., 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

小沢剛

《帰って来た J.L.》

旧民俗文化センターの劇場に現れるJ.L.という謎の人物をめぐる時空を超えた物語。

舞台はフィリピン。50年前、東京とマニラの若者を熱狂の渦に巻き込んだ4人組のひとり、J.L.という謎の人物をめぐる、マニラの盲目の路上ミュージシャンや看板絵描き、さらにさいたま市民も加わった、時空を超えた物語が、旧民俗文化センターの劇場空間に展開する。

P 旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)



藤城光

《ボイジャー 2011》

東日本大震災で避難を経験した方の真の声を聞く。(ウェブサイト「PRAY+LIFE」Praylife.net でも体験できます)

Project 2011, 2011 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



西尾美也

《感覚の洗濯》

感覚を洗濯する？洗濯物の風景に何を感じるのか？！

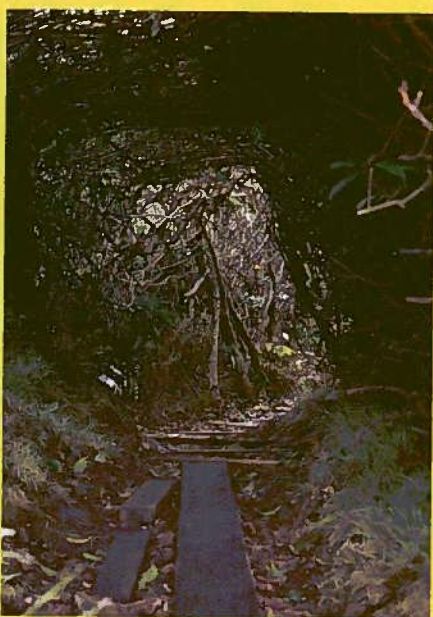


多和田葉子

《白痴の部屋》(さわれる文字の部屋) (L字の部屋)

文字や言葉を体感する小説家ならではの「文学インスタレーション」!

Room of Photos, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



E Elemental Detection

風景の中に入る——私たちはどこにいるのだろうか？

どこかで見たことのある風景が視界に流れ込む、どことも特定できず、不思議と漂う既視感の中で自分が立っている場所を体験する大型インスタレーション作品。



日本相模岡芸術作曲家協議会 JACSHA (相模岡芸術研究室)

相模岡の中の音楽を「聞く」? 型破りな作曲家たちの進行形プロジェクト。
*《JACSHA 土曜祭り in 岩槻》は終了しました

JACSHA (Shimogaoka Art House), 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



大洲大作

《Commuter 通う人》(車窓をみつめる)

通勤電車の窓から見かけたひとコマが集まるともうひとつの風景ができる。



マテイアンドラシュ・ヴォグリンテッチ (無題「枕」)

日常生活のなかでは決して見ることのできない光景が!

Unsettling, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



川笠龍三

《厘の角がもう少し長ければ歴史は変わっていたらろう》
さいたまから「ざい」が発掘された!?

Millennium, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



ウィット・ボンニミット

《未来はプレゼント》
ママアンちゃんのあたたかさに触れる!

Future is gift, 2016 photo: W. S. Di Piero



アビチャップン・ウィーラセタン

《Invisibility》
さいたま市内の音に着想を得た映像作品。主人公は影。

Arbi Chappone, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo

アートプロジェクト：イベント カレンダー

向井山朋子(HOME)

■ パフォーマンス(要予約)
毎週土曜日 ① 15:00-15:40 ② 18:00-18:40 K 邸
■ 展示 *パフォーマンス上演日にはご覧になれません
15:00-19:00(休場：火・水) K 邸

ホームベースプロジェクト オープンハウス：滞る制作の作品展示
~12/11 10:00-18:00(最終入場 17:30)

オクイ・ララ <あそび舎でんきりんのみんなと多文化体験!>
多言語の仲間と一緒にここのワークショップ
11/11、19、12/4 各日 13:00-15:00 旧民俗文化センター

大洲大作

《車窓をみつめる》ではあなたのおすすめの車窓を投稿募集中(11月下旬まで)

*各プロジェクト・関連イベントの詳細は公式ウェブサイトまたはガイドブックを参照



オクイ・ララ

《アダプテーション》

さいたまで生活する、外国にルーツを持つ女性たちの多様な文化の“間”をすくひ取る。

Adaptation, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo



向井山朋子

《HOME》

岩槻の古い民家が舞台と化す、新たな表現空間の目撃者になれる!
*写真見聞が源泉とは異なります。詳細はアートプロジェクト：イベントカレンダーをご覧ください



東玉社員寮

ホームベース・プロジェクト

《ホームベース・プロジェクト さいたま 2016》
岩槻区に滞在、さいたま市の歴史、風土、産業などリサーチ、人との出会いからインスピレーションを得る。

Home Base Project, 2016 photo: KUTSUNA Koichiro, Arecibo